

主な議案

9月定例会で審議した
主な議案の概要は次のとおりです。



補正予算の概要



議案

令和2年度決算額

(単位:千円)

◆一般会計	令和2年度決算額 A	令和元年度決算額 B	増減額 A-B	増減率%
歳入総額①	411,350,837	323,357,636	87,993,201	27.2
歳出総額②	403,151,008	315,391,616	87,759,392	27.8
歳入歳出差引額③=①-②	8,199,829	7,966,020	233,809	2.9
翌年度へ繰り越すべき財源④	2,908,078	2,878,083	29,995	1.0
実質収支③-④	5,291,751	5,087,937	203,814	4.0

◆公営企業会計	病院事業会計	水道事業会計	下水道事業会計	簡易水道事業会計
総収益①	12,114,088	10,521,384	21,159,655	129,803
総費用②	12,166,759	8,991,325	19,855,559	134,912
当年度純利益①-②	△52,671	1,530,059	1,304,097	△5,109

静岡市歴史博物館 条例の制定について

令和5年に開館予定の静岡
市歴史博物館の設置及び管理
について、条例で必要な事項を
定めるもの。



歴史博物館外観イメージ

令和3年度静岡市一般会計 補正予算(第3号)

予算規模

一般会計
77億1,638万円増

累計予算額
3,430億4,004万円

在宅ドクターサポート事業(195,200千円)
自宅療養する新型コロナウイルス感染症患者に
対する体調変化の早期発見や、適時適切な治療
を提供するため、保健所に代わってかかりつ
け医などが無料で電話等で行う健康観察の
実施内容を拡充するもの。

事業者応援金支給事業(800,000千円)
「まん延防止等重点措置」及び「緊急事態措
置」の影響を受け、売上が減少している事業者
に対し、静岡県の「中小企業者等応援金」に協
調し、応援金を支給するもの。

学習用情報端末整備事業(725,777千円)
GIGAスクール
構想の実現に向け
1・小中学校1人
1台端末の全学年
における運用を早
期に開始するため、
令和4年度に整備
を予定していた小
学1・2年生分及び
学級担任以外の教
員分の学習用情報
端末等を前倒して
整備するもの。



学習用情報端末を活用した授業の様子

静岡市立学校設置条例の 一部改正について

両河内地区における小中一貫校の整備に
伴い、清水河内小学校、清水西河内小学
校及び清水和田島小学校を廃止し、清水両河
内小学校を設置するため、条例を改正する
もの。

常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの
常任委員長が報告しました。委員長報告における委員の意見や要望
の主なものは次のとおりです。

総務委員会

- * 全般的な予算の構築について、人口70万人の堅持
は厳しい目標設定であるが、コロナ禍で地方分散の
動きも活性化しており、人口の維持にはこだわりを
持って取り組むこと。
- * 質の高い広報のために、市政全般において統制の
取れた情報発信方法を引き続き検討すること。
- * アリーナ整備の推進について、まちのこざわいの
ためにハード整備も必要だが、人口減少に伴う将
来的な負担、課題などを吟味して計画すること。
- * ふるさと納税は、市外の方に本市への関心を持つ
ていただく事業であり、地元を生産者を応援する
ことにもなるので、今後も積極的に取り組むこと。
- * ドローン活用事業は、災害時の情報収集だけでな
く、多方面における活用方法を検討し、先進技術
の導入・展開と積極的な情報発信を求める。

市民環境教育委員会

- * 客引き行為等対策事業経費について、客引き行為
等の禁止に関する条例の周知・啓発だけでなく、
指導員の監視を強化し、街中の風紀の改善を図る
こと。
- * 地球温暖化対策について、省エネルギーの推進や
再生可能エネルギーの更なる導入を求める。ま
た、清沢地区などへの太陽光発電施設の設置は、
土砂災害等につながる危険性があるため、設置等
を規制する条例の制定を検討すること。
- * 教職員の働き方改革について、校務支援システム
の導入は、教職員が子どもたちと向き合う時間が
増える大変効果の高い取組であるため、システム
の拡充を進めること。
- * 船越生涯学習交流館の建て替えは、一日も早い完
成を期待し、省エネルギー化等の検討を求める。

厚生委員会

- * 認知症のご本人や家族の支援を目的とした認知
症ケア推進体制整備事業について、産学官民で
の連携やイベント等を通じ、事業の周知を図る
とともに「いかけこまち七間町」の訪問者に寄り
添った対応を求める。
- * 放課後児童クラブの待機児童解消のため、事業
受託者と協力し、児童クラブ支援員の確保につ
いて更なる努力を求める。また、クラブ室の整備
は、学校、地域関係者などの意見を踏まえ実施す
ること。
- * 私立こども園・保育所等延長保育事業や一時保育
事業費の助成は、保護者のニーズが高まることが
予想されるため、必要な予算を確保し、事業を推進
すること。

観光文化経済委員会

- * DMO(観光地域づくり法人)推進事業負担金に
ついて、ポストコロナ時代に対応した観光商品
の開発、自治体間や官民連携の強化を促すこと。
- * 農業の振興・農家所得の向上のため、農業の6次
産業化を積極的に進め、本市の戦略策定を求める。
- * 静岡市歴史博物館条例の制定について、令和5年
1月の開館まで、関連施設との入館割引に加
え、共通券を引き続き検討すること。また、企画展
示や、団体旅行の誘致も併せて検討すること。
- * 団体旅行等誘致事業と地域型宿泊誘致客事業支援
助成は、市内観光を促進させる起爆剤として、他都
市に後れることのないよう、周知を徹底すること。
- * 事業者応援事業費助成について、事業者ファース
トを意識し、できるだけ早く事業者に支給される
よう支給までのスムーズな手続きを求める。

都市建設委員会

- * 空き家が増加傾向にあるため、空き家情報バンク
の事業内容をしっかりと市民に周知し、登録件数を増
やすこと。また、住生活基本計画を改定する際
には、空き家などの利活用を十分に検討すること。
- * 自転車走行空間ネットワーク及び小学校の通学
路の歩行空間整備は、市民の安全安心のため継続
的かつ計画的に進めること。
- * (仮称)トリアルパーク蒲原整備事業は、企業
版ふるさと納税を活用し、地域の関心も高いため、
事業内容の周知・広報に尽力すること。
- * インフラ分野のDX推進プラン策定事業と道路
関係データ取得活用事業は、市民サービスや道路
状況などの見える化による安全性の向上、業務の
効率化、働き方改革など、多くのメリットがあるた
め、適正な事業推進を求める。

企業消防委員会

- * 住宅用火災警報器の設置推進及び防火管理者の
未選任状況の改善は、市民の命を守ることに直
結するため、コロナに影響されない新たな視点
での実施方法を検討すること。
- * 消防団の状況は、団員数が減り厳しい状況にある
が、自分の地域は自分で守るという意識を持って
もらえるような団員の募集活動を行うこと。また、
女性団員が活動しやすい環境づくりを行うこと。
- * 水道事業、下水道事業は、水道管等の耐震化、老朽
化対策などを推進する建設改良費を着実に執行す
るとともに、想定外の事故を防ぐためアセットマ
ネジメント手法による管理運営を行うこと。
- * スマート水道メーターの導入など官民連携による
デジタル化の推進のほか、グリーン戦略を計画的
に進めること。